

令和2年

経営発達支援事業報告書

景気動向調査

第2四半期 [7月～9月]

業種別DIによる景気判断

<長野県内>

	製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
北 信	↑	改善	↑	改善	↑	改善	↑	改善

全体的に前期よりは多少改善している。

宿泊業はGoToトラベルによる影響で明暗が分かれている。

引き続き厳しい状況となっています。

<全国>

	製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
全 国	→	不変	→	不変	→	不変	↑	多少改善

産業全体： ほぼ全てで新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるが業種によっては持ち直しの動きもみられる。

製造業： 一部では復調傾向であり、食料品関連は拡大傾向にあり製造業全体としては回復傾向であるが先行き不透明である。

建設業： 新型コロナウイルス感染症の影響により休止していた工事の再開などにより復調の兆しはあるが先行き不透明。

小売業： 食料品などは巣ごもり需要などで回復基調であるが、飲食店との取引の多い業者は厳しい状況が続いている。

サービス業： GoToキャンペーンなどの効果により宿泊客や予約が増加し稼働率が上がっているがインバウンド向けは厳しい状況。

<参考資料>

・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」・関東財務局「最近の県内経済情勢」・長野県産業労働部「景気動向調査」・長野経済研究所「最近の長野県経済の動向」・日本政策金融公庫「景気動向調査」・長野信用金庫「景気調査レポート」